



2017年6月14日発行

2017年6月号(通算201号)

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102  
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 【2016～2017主題】

国際会長 Joan Wilson  
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao  
 東日本区理事 利根川 恵子  
 あずさ部長 浅羽 俊一郎  
 東京武蔵野多摩会長 山口 直樹

「Our Future begins Today」  
 「Respect Y's Movement」  
 「For the Future, Act Today!」  
 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」  
 「一歩一歩前に進もう。Yと共に!」

## 【クラブ役員】

会長 山口直樹  
 副会長 板村哲也  
 副会長 伊佐節子  
 会計 宮内友弥  
 書記 渡辺大輔

2017年  
今月の聖句

希望はわたしたちを欺(あざむ)くことはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです (ローマの信徒への手紙 5章5節)

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

## 五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
- 2.ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
- 3.地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
- 4.宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員を啓発し積極的に参加させる。
- 5.健全な交友関係を作り出す。
- 6.この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 6月例会プログラム

強調月間：評価

日時：6月14日(水) 19:00～21:00

場所：東京YMCA西東京コミュニティセンター

司会：伊佐 受付：麻生、石丸

ドライバー：野尻

第一部(総会：19:00-20:00)

\*開会点鐘(会長)

\*総会

第二部(入会式：20:00-21:00)

\*ワイズソング(全員)

\*ゲスト・ビジター紹介(会長)

\*聖句朗読(山口)

\*夕食

\* (転)入会式

司会：山口、司式：宮内

\*YMCA報告

\*ハッピー・パースデー

\*にこにこ

\*閉会点鐘(会長)

\*今月のハッピーパースデー

1日：板村哲也さん

23日：渡辺大輔さん

## 5月例会報告

在籍者	13名
出席者	10名
メーキャップ	0名
出席率	77%
ゲスト	5名
ビジター	0名
ネット・ネット	0名
にこにこ	; / 333円

## 今年度総括と今後の課題

山口直樹

今年度は「一歩一歩前に進もう。Yと共に!」を会長主題としてスタートした。昨年2月に新しいメンバーを徐々に迎え、新しい風と共に一歩前に進むことを目標にして始まった。柱として、東京YMCA西東京センター(以下西Y)の活動をできる限り西Yと共に歩むことと考えた。いくつかの活動に、企画の段階から参画することができたと思う。西Yにとっても新しい風が吹いたのではないかと思っている。

また、ワイズそのものを見直すことが今年度の最大のテーマになった。どこのクラブも会員減少、高齢化問題を共通に抱えており、一番大きな問題である。また、今まで慣例として行ってきたことも含め、我々の活動は何かを見直すことが求められている。今年度初めにメンバー全員からワイズの持つ課題点をできるだけ挙げてもらい、11月例会および12月第二例会で検討と共有をした。そこで確認できたことは次の通りであった。

- ・良い社会、幸せな社会を作りたい。
- ・社会のため、人のために役に立つことをしたい。
- ・まず地域の中でできることから始める。
- ・社会的弱者・支援を必要としている人とのかわりが必要
- ・YMCA行事のサポートやOBの活躍できる場も作りたい。
- ・無理のない範囲でできることを継続する。

事前の打ち合わせなども検討チームで行うなど、かなり深めたと思う。例会でも秋田さんからYMCA運動の現状と今後必要とされているものを学び、大変参考になった。5月例会では西Yのリーダーの話を聞き、社会状況に対して若いリーダーたち考えを学ぶことができた。まさに共に歩む実感を持てたと思う。

また、7月からは新しい活動(健康増進カフェにたち)がスタートする。新たな一歩を踏み出せることはうれしいことである。今年度は改革を始めたばかりであり、思うように成果は出ていないが、一歩ずつ前に進んでいると感じる。浅羽部長の主題は「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」利根川理事の主題は「明日に向かって、今日動こう」であった。賜物の発見をし、前を向いて動き始めたとの感想を持った。次期の栗本理事も「広げよう ワイズの仲間」との主題で、改革をしながら活動の活性化を課題に挙げており、全体としてもワイズ改革の機運が高まっている。川越での第20回東日本区大会も終わり、いよいよ次次期の宮内理事年度が目の前に迫ってきている。ワイズ運動を再構築していく絶好のチャンスとして、東京武蔵野多摩クラブとしても共に歩んでいきたい。

2017年5月例会報告

日時 5月10日(水) 19時～  
 会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター  
 メンバー：10名 ゲスト：5名(リダ-4名、鈴木氏)  
 卓話者：西東京コミュニティーセンターリーダー

「リーダーたちとの懇談」

5月の第一例会はYMCAのリーダー大学生3名くえんがわ、ゴマシオ、ロベリーと、YMCA職員1年目のくセサミのパネルディスカッション形式で、先輩職員出沼氏のリードにて進行する。

若い世代と、Y'sのシニア族、年齢差関係なく熱い思いを語り合う。

YMCAとの出会いから現在の親子関係の問題点、又シンギュラリティ(技術的特異点)の問題、SNSの問題点などなど次から次へと話題が尽きない。

戦争のない今の時代、文明が発達して便利を迫る時代、個を大事にして確立してきた時代、技術が進歩して本来は便利や快適である事は生活を楽しんでくれるはずなのに、私たちは心が追い付かなくなっている現実。他人からの評価を気にして自分自身を見失ってしまい、感じる心が削られてしまう気がする。

今YMCA、Y'sの素敵な仲間たちとの出会いの中でお互いの違いを認め、人の痛みを思いやる心を育み、人の本質を理解できるように、一緒に共に悩み、共に笑い、共に涙して、一緒に時を共有し、皆が幸福と感じて生きて行きたいものである。

そして若者も、Y'sのシニア族も、意識高い系で今、現在のたくさんの問題点、今後の社会全体の方向性、又、人の心、人の絆、人の輪の大切さを熱く熱く、二次会でもまだまだ時間不足なほど、語り合える素晴らしさを痛感する。

まだまだ世の中捨てたものではない。遠い昔のYMCA少年部時代を懐かしく想い出す。西東京センターの素敵な仲間へ感謝、感謝である。(麻生由美子)

第3回あずさ部評議会

宮内 友弥

第3回あずさ部評議会がアトム評議会と名打って、5月13日11:00より山手センターにて開催された。出席者は、議決権者39名を含む65名で4件の議案が審議された。

- 1号議案 2017018年度あずさ部活動方針案
- 2号議案 2017018年度あずさ部予算案
- 3号議案 2017018年度部会日程+10月21日、
- 4号議案 評議会開催日程(7月15日、2月10日、5月23日)

1、3、4号議案は全会一致で承認、2号議案は執行部にて修正の上、再度審議されることとなった。その後、部長、各事業主査、クラブ会長の活動報告があり、12:30予定通り閉会となった。当クラブの出席者は、伊佐、板村、山口、渡辺、宮内の8名。

東京たんぼぼYサービスクラブ15周年記念例会に参加  
 伊佐 節子

2017年5月13日(土)東京YMCA山手コミュニティーセンターにおいて東京たんぼぼYサービスクラブ15周年記念例会が行われた。

午前中の部評議会に引き続き、記念例会が実施されるケースが近年多くなっている。

たんぼぼのように、地に根を張り、綿帽子となって種子を飛ばし増えていく可憐でたくましい花をイメージして、東日本区で初の女性クラブの誕生となった

15年の年月には様々な問題があったと推察される。初の「あずさ部」女性部長、初の女性東日本区理事を輩出し頑張ってもらえた。現在会員数6名で15周年記念例会を実施、参加者127名の大盛況であった。山口直樹会長・宮内友弥・伊佐節子の3名が参加。

東京YMCA会員大会に参加して

山口直樹

5月27日に東京YMCA東陽町センターにて第15回東京YMCA会員大会が開催された。詳しくは別に報告書が出ると思うので、ここでは感想を述べたい。

今までは、ワイズを中心に比較的YMCAと距離の近い人たち中心の集まりであった。今回は内容を工夫して、東京YMCAで行われている様々な活動の紹介が11のブースで行われ、他の活動を知る大変良いチャンスであった。西東京センターも二つブースを出し一つの部署で複数紹介しているのは西のみ、活発な活動の一端を垣間見れた。

今回は新しい工夫で活性化した大会であったと思うが、活動に余りかわりを持っていない会員は参加が相変わらず少なかったと思う。ちょっと残念。

【強調月間コーナー】

6月：評価

東日本区では年度末6月を評価の強調月間としています。一年間を振り返って、クラブの成果・反省点などを評価し、また自分自身の1年間の活動がどうであったかを再確認しましょう。何がどこまでできたか、できなかったか。そして次の課題や問題点は何かを分析・評価し、次年度へつなげることが大事です。(TM)

<西東京YMCA便り>

出沼一弥

5月のプログラム報告

- 5/14 「にこにこ」5月例会 狭山稲荷山公園 6名
- 「ロビンソン」5月例会 高尾山 22名
- 5/20-21 「あおぞら・つばさの会」1泊会 妙高高原ロッジ・軽井沢 12名
- 5/21 「TeenS」5月例会 川越 3名
- 5/28 「Smile」5月例会 昭和記念公園 10名
- 「シャベルズ・いずみの会」5月例会 高尾山 17名

▼6月の主な予定

- 6/4 幼児野外活動「にこにこ」6月例会
- 小学生野外活動「ロビンソン」6月例会
- 知的障がい児・者 余暇活動
- 「あおぞら・つばさの会」1泊会
- 6/10011 知的障がい児・者 余暇活動
- 「シャベルズ・いずみの会」6月例会
- 6/11 発達障がい児 野外活動「Vp kh」6月例会

東京YMCA 第15回会員大会(5/27)

年に1度の会員大会を東京YMCA東陽町センターで開催しました。3部構成からなる1部で、ボランティアリーダーの中村有里さん(こりん)が「Youth Volunteer of the Year」で表彰されました。中村さんは2013年度から4年間「知的障がい児・者の余暇活動 あおぞらつばさの会」で中心的な存在として関わり、幼児や小学生、中高生対象のシーズンキャンプにも取り組んでいました。持ち前の明るさは、メンバーを笑顔に変えるだけでなく、ミーティングで話が行き詰まると和ませていました。うまくできないことや苦手なことも楽しみに変える力を持ち、活躍したことが理由でした。

2部は東京YMCAの様々な活動(プログラム)の紹介をブース形式で行い、西東京は障害プログラムを多く運営しているの、「障がいのある方と共に」、そして会員活動として「シジウカラ」を紹介しました。

今年は144名の会員が集まりました。多くの会員に西東京の活動紹介ができたことが嬉しく思うと共に、これからも会員が支えたいと想う魅力ある活動を行っていきたくて思いました。